

温泉分析表

日本衛生 温 第 0060 号

1	申請者住所氏名	北海道利尻郡利尻町杓形字緑町		利尻町長 保野 洋一							
2	源泉名及び湧出地	利尻温泉 (源泉名 利尻ふれあい温泉)		北海道利尻郡利尻町杓形字富士見町95-1							
3	湧出地における調査及び試験成績										
	(イ) 調査および試験者	日本衛生株式会社 藤澤 英樹									
	(ロ) 調査及び試験年月日	平成 25 年 11 月 6 日									
	(ハ) 泉温	33.4℃ (気温:14℃) (ニ) 湧出量: 84.1ℓ/min (自噴)									
	(ホ) 知覚的試験	無色澄明、炭酸味、弱塩味、弱金気臭									
	(ヘ) pH	値: 6.7 (ト) ラドン (Rn):									
4	試験室における試験成績										
	(イ) 試験者	日本衛生株式会社 藤澤 英樹									
	(ロ) 分析終了の年月日	平成 25 年 11 月 15 日									
	(ハ) 知覚的試験	黄色、濁、炭酸味、弱塩味、無臭									
	(ニ) 密度	1.0074 (20 / 4℃)									
	(ホ) pH	値: 6.66									
	(ヘ) 蒸発残留物	9.405 g / kg (180℃)									
5	試料1kg中の成分:分量及び組成										
	(イ) 陽イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(ロ) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)			
	水素イオン	H ⁺			フッ素イオン	F ⁻					
	ナトリウムイオン	Na ⁺	2742.	119.27	68.42	塩素イオン	Cl ⁻	3784.	106.73	59.21	
	カリウムイオン	K ⁺	155.2	3.97	2.28	水素イオン	OH ⁻				
	アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	1.9	0.11	0.06	硫化水素イオン	HS ⁻	0.0	0.00	0.00	
	マグネシウムイオン	Mg ²⁺	405.7	33.38	19.15	チオ硫酸イオン	SO ₃ ²⁻	0.0	0.00	0.00	
	カルシウムイオン	Ca ²⁺	341.3	17.03	9.77	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	381.4	7.94	4.40	
	アルミニウムイオン	Al ³⁺				炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	3993.	65.44	36.30	
	マンガンイオン	Mn ²⁺	0.5	0.02	0.01	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	1.5	0.05	0.03	
	第一鉄イオン	Fe ²⁺	15.3	0.55	0.31	リン酸イオン	HPO ₄ ²⁻	5.1	0.11	0.06	
	第二鉄イオン	Fe ³⁺									
	計		3662.	174.33	100.	計		8165.	180.27	100.	
	(ハ) 遊離成分										
	非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)					
	メタ珪酸	H ₂ SiO ₃	183.0	2.34	メタ亜ヒ酸	HAsO ₂	6.4	0.06			
	メタ硼酸	HBO ₂	133.9	3.06							
	計						323.3	5.46			
	溶存物質 (ガス性のものを除く) 12.15 g/kg										
	溶存ガス成分										
	遊離二酸化炭素	CO ₂	1105.9	25.11							
	遊離硫化水素	H ₂ S	0.0	0.000							
	計		1105.9	25.11							
	成分総計 13.26 g/kg										
	(ニ) その他微量成分										
	亜鉛:0.022mg/kg、アルミニウム:0.004mg/kg、フッ素:0.08mg/kg										
	銅、鉛、カドミウム、総水銀:検出せず										
6	泉質: 含二酸化炭素-ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉 (中性高張性低温泉)										
7	禁忌症, 適応症: 「温泉分析書別表」中5に記載する。										
平成25年11月15日			登録分析機関 登録番号 北海道第11号								
			北海道札幌市清田区平岡1条1丁目1番40号								
			日本衛生株式会社								

別 表

1	源泉名: 利尻ふれあい温泉	
2	源泉所在地: 北海道利尻郡利尻町杓形字富士見町95-1	
3	源泉分析申請者: 利尻郡利尻町杓形字緑町 利尻町長 保野 洋一	
4	泉質: 含二酸化炭素-ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉 (旧泉質名: 含炭酸・重曹-食塩泉) (中性高張性低温泉)	
5	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴用	禁忌症	急性疾患 (特に熱のある場合) 活動性の結核 悪性腫瘍 重い心臓病 呼吸不全 出血性疾患 高度の貧血 その他一般に病勢進行中の疾患 腎不全 妊娠中 (特に初期と末期)
	適応症	神経痛 筋肉痛 関節痛 五十肩 運動麻痺 関節のこわばり うちみ くじき 疲労回復 慢性消化器病 痔疾 冷え性 病後回復期 健康増進 虚弱児童 慢性皮膚病 慢性婦人病 高血圧症 動脈硬化病 きりきず やけど
6	源泉の温度が33.4℃なので、入浴に適した温度を保つため加温しています。	
7	温泉資源の保護と衛生管理のため、循環ろ過装置を使用しています。	
8	衛生管理のため、塩素系薬剤を使用しています。	
9	浴用	一般的注意事項
		(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意すること。
		(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるに従って延長してもよい。
		(3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。
		(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。
		(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。
		(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし「湯ただれ」を起こし易い人は、逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。
		(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
		(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。
		(9) その他